

## 『奈良県防犯設備士協会での活動』

奈良県防犯設備士協会事務局  
防犯設備士 第12-23854号  
奈良県安全・安心まちづくりアドバイザー  
奈良県防犯設備士協会事務局担当理事



和田 友香子



私は、奈良県防犯設備士協会事務局を担当しております和田と申します。

私が当協会に入会したきっかけは、主人が鍵と防犯の専門店「アクティブ防犯センター」を平成13年6月に開業し、錠前関係中心の仕事をしておりました。当時私は、建材メーカーに勤めており主人の仕事は手伝ってはいませんでした。平成16年出産を機に会社を退職し、少しずつ主人の仕事を手伝うようになりました。



当初は、店番をして合鍵作製をするだけでしたが、来店されるお客様から防犯対策のさまざまな相談を受けるようになり、自分の知識不足を痛感し、防犯設備士資格取得の勉強を始めました。しかし、技術知識が不十分な私にとって、非常に難しい内容でしたが、平成25年に取得することが出来ました。その後は、主人が入会しておりました「奈良県防犯設備士協会」に主人と交代して入会することになり、平成25年からは、事務局として活動しております。又、家業の方は、錠前だけでなく防犯カメラ設置・護身用品自主防犯グッズ販売など取り扱いを商品の幅を広げて、地域の防犯専門店として営業しております。

当協会に入会してからは、県内各警察署・自治体と

連携を図り、防犯講演会、展示会を会員で分担しながら実施しています。自治会向け防犯教室では、防犯アドバイザーとして実際の商品を見て触って試してもらい、防犯の4原則を基本に身近な事例を交えて、アットホーム的な雰囲気の中で参加者の防犯意識向上に結びつくような啓発活動に心掛けています。これらの講演・展示会は、地域住民の方々の防犯ニーズと、新しい防犯情報を吸収する良い機会であり、時間の許す限りするよう心掛けています。昨年からは、奈良県安全・安心まちづくりアドバイザー派遣事業の講師としても活動しており、中学校保護者向けに不審者対策、DV・ストーカー対策の防犯教室の講習等も実施致しました。私にとっては、今までにない領域の講演会でしたが、事前準備を充分に行い、無事終えることが出来ました。



奈良県防犯設備士協会は、1996年8月に奈良県警察本部生活安全部の指導とバックアップにより20数名の個人会員により創立され、今年で20周年を迎えます。当協会の特徴として県内に多くの世界遺産、重要な歴史文化財が存在しております。昨年春ごろには、「寺社連続油被害事件」が連続して発生し、奈良県文化財保存課の緊急対策事業の一環として、防犯カメ

ラやセンサーなどの設置仕様書作成等のアドバイスと合わせて、社寺からの問い合わせでは、現地調査等を含めて、適切なアドバイスをしています。又、昨年、香芝市で発生した「少女連れ去り監禁事件」の影響で各自治体や自治会からは、街頭防犯カメラの設置相談が多く出てきており、これについても現地調査と合わせて適切な設置なアドバイスをしています。



奈良県は、昨年の観光客数は、約4,000万人と多く、2020年のオリンピックに向け、ますます多くの観光客が予想されます。これらの観光客に安全・安心で奈良を楽しんでもらう為にも、街頭防犯カメラやセンサー等の防犯設備の適切な設置推進するとともに、住民の方々が安全で安心して暮らせる地域の創出に微力ながら貢献出来ればと思っています。



これらの活動を通じて、奈良県防犯設備士協会が、地域の中で重宝されるような存在になれるように頑張っていきたいと思っています。

最後になりましたが、私の住む広陵町は、奈良県の北西部にあり、大阪のベッドタウンとして緑豊かな住宅

地ですが、槌山古墳を代表として多くの古墳、社寺があり、歴史を感じさせる町でもあります。主要産業の靴下は、全国生産量の約40%を生産しております。また、かぐや姫発祥の地といわれております。近くの斑鳩町には、世界遺産でもある法隆寺があります。全国の防犯設備士の皆さん、古都奈良にお越しの際は、少し足を延ばし歴史を感じさせる広陵町へもお越しください。

